

アルミ部品の取扱い

アルミホイールは、一般的なスチールホイールと取扱いが異なります。アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。

《お手入れ》

- アルミ部品は、塩分などの汚れを嫌いますので、海水及び道路凍結防止剤などが付いたときには、早めに、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを落した後、十分に水洗いをしてから乾いた布で水分を拭き取ってください。

《取扱い》

- アルミ部品は、傷がつきやすいのでかためのものでこすったり、すり当てたりしないでください。
- 砂入り石鹸や硬いブラシは、アルミ部品を傷つけますので使用しないでください。

フェアリングの取扱い

《フェアリング付き車》

フェアリングの取扱いには次の項目をお守りください。

- ウインドスクリーン、フロントフェンダは傷がつきやすいので、清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布かスポンジで汚れを落してください。
- 汚れのひどい時は、中性洗剤を使用してください。
- ガソリン、ブレーキ液または洗浄液等の化学物質がメータ、ウインドスクリーン、フェアリング、サイドカバー等の樹脂部品およびヘッドライトにかかると、亀裂などが発生しますので、絶対にかからないようにしてください。
- ウインドスクリーンに貼付されているコーションラベルは、はがさないでください。